

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第三課

1. 基本情報

国名：モザンビーク共和国（モザンビーク）

案件名：職業訓練センター改善計画

（The Project for the Improvement of Vocational Training Centers）

G/A 締結日：2018年8月20日

2. 事業の背景と必要性

（1）当該国における職業訓練セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

モザンビークは天然資源に恵まれ、日系企業を含む多くの外国企業が投資先として関心を持っている。しかし、成人識字率（2015年：59%）、中等教育修了率（2011年：5%）、職業訓練教育受講率（2014年：5%）は低く（世界銀行）、教育・訓練機会が欠如しており、産業界が必要とする優秀な人材は著しく不足している。

モザンビーク政府は産業人材の育成を重要課題と位置づけ、「政府5か年計画（Government's Five Year Plan 2015-2019）」において、人間開発の促進と雇用機会創出を目的として、職業訓練へのアクセスと質の向上、産業界のニーズに合致した職業訓練の促進等を重点活動に掲げている。

モザンビークの職業訓練セクターが産業界の人材育成ニーズに応えられていない理由として、関係する省庁（労働・雇用・社会保障省、科学技術・高等教育・職業教育省等）の間で統一した政策枠組みが欠如していること、職業訓練センターの指導員の能力不足、時代遅れな指導方法・カリキュラム、訓練生に対するキャリア・ガイダンスやインターン機会の欠如等があげられるが、訓練用機材や訓練用ワークショップの老朽化・不足といったハード面にも問題を抱えている。

職業訓練センター改善計画（以下、「本事業」という。）は、「政府5か年計画」に基づき、モザンビーク国内における最大の職業訓練プログラム提供者である職業訓練・労働研究機構（Institute for Vocational Training and Labor Studies Alberto Cassimo: 以下、「IFPELAC」という。）が直営する3か所の職業訓練センター（全国17か所のうち、北部・中部・南部の各1か所）の施設拡充及び機材整備を支援することで、職業訓練の質を向上させるものであり、地域の産業界のニーズに合致した人材育成の促進に寄与するものとして位置付けられている。

（2）職業訓練セクターに対する我が国及びJICAの協力方針等と本事業の位置付け

対モザンビーク共和国 JICA 国別分析ペーパー（2015 年 3 月）において、「民間セクター」「教育」が重点課題であると分析されており、対モザンビーク共和国国別開発協力方針（2013 年 3 月）の別紙における開発課題として「産業開発」が定められ、産業振興及び経済インフラ整備のための人材育成の重要性が明記されている。本事業は、職業訓練の質向上を通じて産業人材育成を支援するものであり、これらの分析、方針に合致する。

なお、JICA はモザンビークの職業訓練セクターにおいて、技術協力「産業人材育成センター能力強化プロジェクト」（2017 年～2021 年）を実施中である。

また、本事業は SDGs ゴール 8「持続的、包摂的で持続可能な経済成長と、万人の生産的な雇用と働きがいのある仕事の促進」に貢献すると考えられる。

（3）他の援助機関の対応

世界銀行が 2006 年から 2015 年までの 10 年間「技術・職業教育プロジェクト（PIREP）」を通じ、国家職業資格システム（National Professional Qualification System: SNQP）の策定・導入を支援。その他、ドイツ、イギリス、イタリア、カナダ、ポルトガル等が職業訓練機関の整備や機能強化を支援しているが、本事業との重複はない。

3. 事業概要

（1）事業目的

本事業は、マプト州マトラ市、ナンプラ州ナカラ市及びザンベジア州キリマネ市の職業訓練センターの施設拡充（マトラ市は除く。）及び機材整備を行うことにより、職業訓練の質の向上を図り、もって地域の産業人材育成に寄与するもの。

（2）プロジェクトサイト／対象地域名:

マプト州マトラ市（人口：68 万人）、ナンプラ州ナカラ市（同：22 万人）、ザンベジア州キリマネ市（同：19 万人）

（3）事業内容

1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】

ナカラ職業訓練センター（計約 544 m²）:

- 自動車整備分野の訓練コース用ワークショップ、教室、倉庫（約 311 m²）
- 農産品加工分野の訓練コース用ワークショップ、教室、倉庫（約 233 m²）

キリマネ職業訓練センター（計約 311 m²）:

- 農産品加工分野の訓練コース及び建設分野の訓練コース（配管コース）用ワークショップ、教室、倉庫（約 311 m²）【機材】

3 職業訓練センターの訓練用機材（建設、溶接、自動車整備、農産品加工の各分野の訓練コース用機材、計約 340 品目）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、調達・施工監理

(4) 総事業費

969 百万円（概算協力額（日本側）：880 百万円、モザンビーク側：89 百万円）

(5) 事業実施期間

2018 年 5 月～2021 年 2 月を予定（計 34 ヶ月）。施設及び調達機器の供用開始時（2020 年 2 月）をもって事業完成とする。

(6) 事業実施体制

1) 事業実施機関：職業訓練・労働研究機構（Institute for Vocational Training and Labor Studies Alberto Cassimo: IFPELAC）

2) 運営・維持管理機関：IFPELAC 本部・各州支局及び各職業訓練センターが行う。

(7) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1) 我が国の援助活動

技術協力「産業人材育成センター能力強化プロジェクト」（2017 年～2021 年）において、IFPELAC 本部及び本事業の対象 3 職業訓練センターの職業訓練プログラム実施能力及び管理能力の強化を支援している。これらソフト面の取り組みと併せて本事業でハード面を強化することで、職業訓練の質向上を総合的に支援する。

2) 他援助機関等の援助活動

特になし。

(8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

①カテゴリ分類：C

②カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 横断的事項：特になし

3) ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(9) その他特記事項：特になし

4. 事業効果

(1) 定量的効果

1) アウトカム (運用・効果指標)

指標名	職業訓練センター	基準値 (2017年実績値)	目標値 (2023年) 【事業完成3年後】
対象訓練コース (CBT コース) 数※1	マシャバ	0	5
	キリマネ	0	5
	ナカラ	0	9
対象訓練コース (CBT コース) の年間受講者数 (人) ※2	マシャバ	0	160
	キリマネ	0	160
	ナカラ	0	288

※1：IFPELAC 直営の職業訓練センターで実施されている職業訓練コースは、CBT (Competency Based Training) 方式に基づいた全国共通の新カリキュラムへの移行段階にある。本事業の対象となる建設・溶接・自動車整備・農産品加工の各分野の訓練コースは全て CBT 方式の新カリキュラムで実施される計画である。

※2：16人 (定員) × 対象訓練コース数 × 年間2回実施と想定。

(2) 定性的効果

- ・職業訓練の質が向上し、訓練生の職業訓練コースに対する評価が向上する。
- ・地域の産業ニーズに合致した人材が輩出される。
- ・受講生のエンプロイアビリティが向上する。

5. 前提条件・外部条件

(1) 前提条件

技術協力プロジェクトの支援を受け、各職業訓練センターの職業プログラム及び実施能力体制が整う。

(2) 外部条件

地域の産業ニーズが大幅に変化しない。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

セネガル共和国向け無償資金協力「職業訓練センター拡充計画」の事後評価 (2008年) 等では、機材の仕様情報に関する関係者の理解に齟齬が生じ、一部機材については現地では一般的ではない仕様であったことが指摘されている。本事業では、機材選定においては製品カタログや写真も用いつつ、実施機関・コンサルタント間で十分仕様詳細を確認することが必要との認識の下、技術協力プロジェクトの専門家とも連携しつつ、密に確認を行い、機材計画を検討した。

7. 評価結果

本事業は、モザンビークの開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力量針・分析に合致し、職業訓練の質の向上を通じて地域の産業人材育成に資するものであり、SDGs ゴール 8「持続的、包摂的で持続可能な経済成長と、万人の生産的な雇用と働きがいのある仕事の促進」に貢献すると考えられることから、事業の実施を支援する必要性は高い。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

4. (1) ~ (2) のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール

事後評価 事業完成 3 年後

以 上